

就学、就職、結婚、退職…人生の節目で出会う新聞

新聞が読み始められるきっかけとはどのようなものでしょうか。調査結果を見ると（表2）、「家にあったから」（37.6%）がトップで、手に取れるところにあった新聞をなんとなく読み始めた人が多いのですが、「社会人になったから」（29.7%）、「仕事で必要になったから」（13.7%）も少なくない割合で続きます。何らかの生活の変化、節目が人々を新聞に向かわせるきっかけになっていることが見えてきます。

性別では、「社会人になったから」は女性より男性が多く、「結婚したから」は男性より女性が多くなっています。就職と結婚。人生における大きな転機をきっかけに新聞を読み始めていることがわかります。

年代別では、15-19歳は「家にあったから」のほかは「学校の授業で使ったから」（32.6%）と「自分の受験勉強で使ったから」（15.2%）にほぼ集約されます。授業の理解を深めたり、受験を乗り切るために必要な知識を新聞から得る。近年は教育現場で新聞を活用するNIE（Newspaper in Education）を積極的に取り入れる学校も増えており、この年代の上位項目に入ることが理解できます。

20代では「社会人になったから」（19.4%）が2位、「就職活動で使ったから」（12.8%）が4位に入ります。30～50代

は「社会人になったから」が2位、「仕事で必要になったから」が3位に入っています。積極的に新聞から知識や情報を得ることで、会社の先輩たちや取引先などと円滑なコミュニケーションをはかろうとする姿が浮かびます。自分自身の経験を振り返っても、上司や取引先との会話で新聞の記事のことがよく話題になっていたことを思い出します。

また、70代では「退職して時間に余裕ができたから」（14.3%）が4位に入っていることも見逃せません。何らかの情報を得るために読まれていた新聞が、余暇の楽しみへと変容しています。

受験、就学、就職、結婚、退職…性別や年代によりシチュエーションは様々ですが、それまでの生活環境が大きく変化する人生の節目には、だれでも未知の世界に飛び込む不安や恐怖感があるものです。その不安を拭い去り、新しい世界へと進んでいくうえで必要な知識や情報を得る術を、人々は新聞に求めているのかもしれませんが。幅広いジャンルの情報がコンパクトにまとまっていて、しかも毎日新鮮な情報が宅配される新聞は、あらゆる年代のニーズに対応できるマルチな媒体です。人生の節目で迷ったとき、新聞は頼れる強い味方になってくれるはずです。

（読売新聞東京本社 藤門 順）

表2 新聞を読み始めたきっかけ（複数回答）

(%)

	家 にあ った から	社 会 人 に な っ た か ら	仕 事 で 必 要 に な っ た か ら	学 校 の 授 業 で 使 っ た か ら	結 婚 し た か ら	自 分 の 受 験 勉 強 で 使 っ た か ら	時 間 に 余 裕 が で き た か ら	退 職 し て 時 間 に 余 裕 が あ っ た か ら	学 校 、 職 場 に あ っ た か ら	就 職 活 動 で 使 っ た か ら
新聞読者全体 (n=3,177)	37.6	29.7	13.7	9.3	8.6	5.8	5.4	5.1	4.6	
性別	男性 (n=1,525)	32.1	34.2	17.9	7.7	4.8	6.0	3.4	6.2	5.4
	女性 (n=1,652)	42.7	25.4	9.7	10.9	12.1	5.7	7.3	4.1	3.8
年代別	15-19歳 (n=132)	38.6	—	—	32.6	—	15.2	—	2.3	0.8
	20代 (n=211)	38.9	19.4	8.1	15.6	1.4	7.1	0.9	5.7	12.8
	30代 (n=434)	38.2	23.3	12.7	7.4	6.5	6.2	0.7	8.5	4.4
	40代 (n=570)	35.3	27.2	13.7	9.8	6.1	6.7	1.2	5.8	4.6
	50代 (n=549)	43.2	30.8	13.8	7.5	10.9	5.6	2.9	4.9	4.0
	60代 (n=720)	37.4	37.9	15.3	6.3	12.4	4.0	8.9	4.2	2.6
	70代 (n=561)	33.7	36.2	17.5	8.4	10.3	4.5	14.3	3.4	5.5